

令和2年度 第2回 健康寿命日本一おおいた創造会議

令和3年2月3日(水) レンブラントホテル大分



議 事

- | | |
|-------------------------|-----|
| 1 「みんなで延ばそう健康寿命」推進月間の取組 | 1頁 |
| 2 健康アプリ「おおいた歩得」を活用した取組 | 2頁 |
| 3 各団体・おうえん企業の取組 | |
| (1) 一般社団法人大分青年会議所 | 4頁 |
| (2) アクサ生命保険株式会社 | 7頁 |
| (3) 国東市医療保健課 | 10頁 |
| 4 ウィズコロナ時代の健康づくりpart 2 | |
| (1) 県内の感染状況 (大分県) | 13頁 |
| (2) べつだいウォーク実行委員会 | 19頁 |
| (3) 大分県学校保健会 | 22頁 |
| (4) 大分市 入蔵健康サロン | 25頁 |

令和2年度「みんなで延ばそう健康寿命」推進月間(10月)

健康づくりイベントの開催
 9～11月(3か月間) 443回 (健康づくり関連 138回、栄養・食関連 167回、運動・スポーツ関連 156回)
 ※令和元年度：564回 (健康づくり関連 190回、栄養・食関連 250回、運動・スポーツ関連 216回)

健康づくりの普及啓発
 「月間ポスター・のぼり」の掲示、「月間啓発野菜の種」の配布

県庁HP、県政テレビ番組、市町村広報誌等による情報発信





参加 9～11月3か月間 参加合計 **60,674** 人 (元年度実績:164,814 人)


▼推進月間 参加者数(人) 推移

H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
83,505	130,370	150,050	164,814 (県民7人に1人)	<u>60,674</u>

▼健康づくりイベント開催における変化・工夫

- ・新しい生活様式の実践、感染症対策の工夫
- ・集客型イベントから、アプリ・SNSを活用したオンラインイベントへ


(例) 規模縮小、入場制限、事前予約制、参加者名簿の作成、マスク着用要請、換気・消毒の実施、3密回避 等



みんなで延ばそう健康寿命推進月間 広報番組

テレビ放映を通じて、幅広い層の県民に対して「健康寿命日本一」の推進に寄与する地域団体の取組を紹介

TOS「ゆ〜わくワイド」番組内 3分×全5回シリーズ (9～11月)
 放送後はTOS特設ホームページにて動画掲載

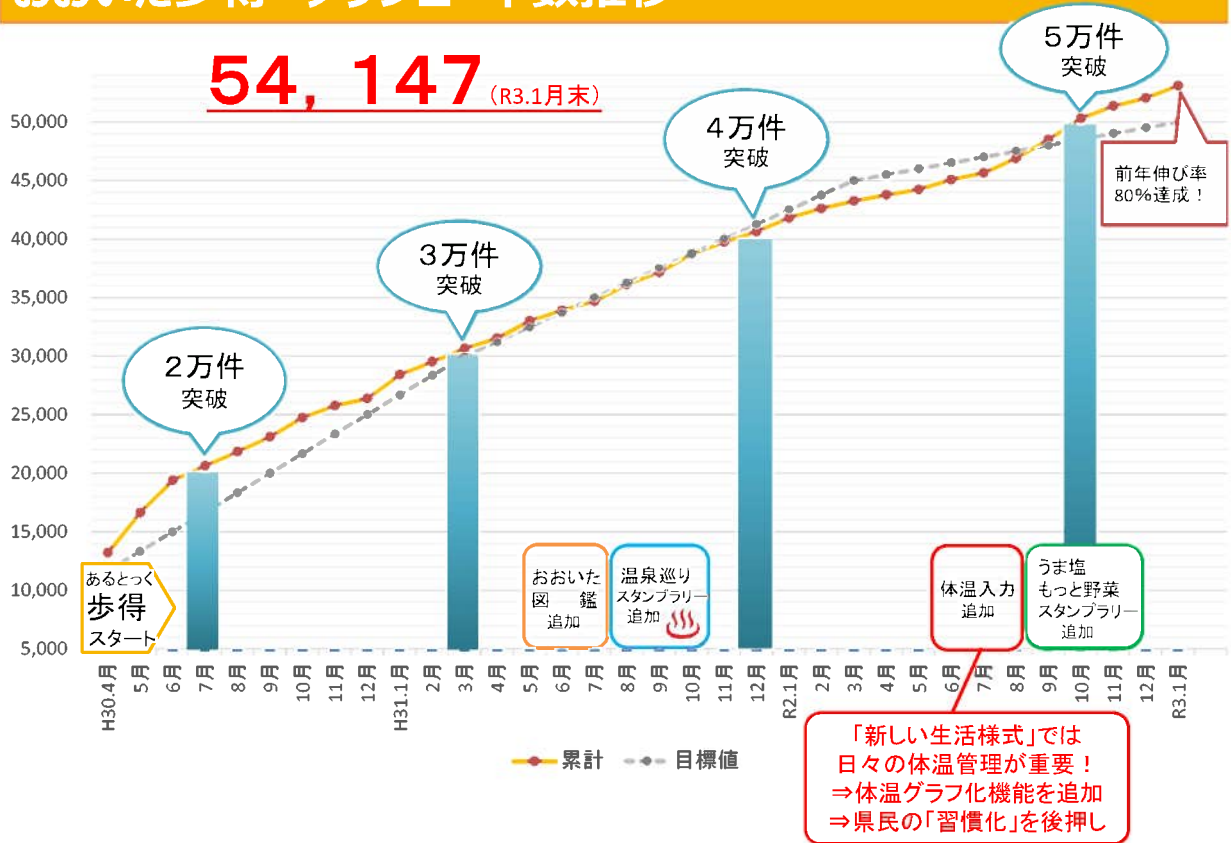
TOSすこやか 家族博覧会特設ホームページ 

内容	放送日	視聴率
「うま塩もつと野菜メニューを食べて健康に！」 うま塩もつと野菜メニュー提供店： 玖珠・森のクレヨン (カフェ)	9月16日 (水)	10.3%
「みんなで歩いて健康に！」 大分県ウォーキング協会 三浦 健司 会長	10月7日 (水)	11.0%
「職場ぐるみの健康づくり」 令和2年度 優秀健康経営事業所： 株式会社 鳥繁産業	10月21日 (水)	14.4%
「地域の健康づくりを支える“食推さん”を知っていますか？」 大分県食生活改善推進協議会 荷宮 みち恵 会長	11月4日 (水)	12.8%
「温泉でリフレッシュ」 おおい温泉ウェルネス推進研究会 会長 斉藤 雅樹 教授 (東海大学)	11月18日 (水)	12.0%

県内総視聴者数 約16万2千人

おおいた歩得 ダウンロード数推移

(平成30年4月～令和3年1月)



おおいた歩得 平均歩数 (R元年度とH30年度の比較)



県全体、男女別いずれも歩数増加

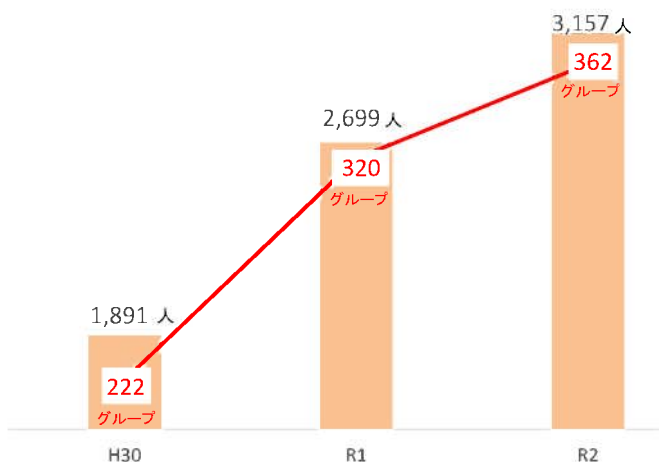
市町村別でも**15市町**で歩数増加

「おおいた歩得」
を活用した
市町村の取組
が進んでいる

臼杵市	健康イベント参加や歩得のインストール等で点数を付与。一定の点数獲得で商品券を贈る。
津久見市	2人以上でチームをつくり、歩得歩数など50日間のチーム平均歩数を競う。基準歩数を満たしたチームには商品券を贈る。
竹田市	運動や食生活の改善でポイントを付与し、記念品や抽選で商品が当たる。歩得のカードランクもポイントに反映。
豊後高田市	3人以上のグループで申請。10月の1か月間で歩得の活用などの一定ポイント以上の獲得で商品券を贈る。
宇佐市	個人で健康づくりの目標を決め、実践。目標達成者には歩得のポイントや抽選で健康グッズ等を進呈。
由布市	歩得歩数などの運動や食生活の改善でポイントをとめると、商品券がもらえる。
九重町	歩得を活用した1か月間の平均歩数を競うイベントを開催。平均歩数の上位者には、表彰状と賞品を贈呈。

職場ぐるみの健康づくりの促進 – 職場対抗戦 –

「おおいた歩得」のグループ機能を活かした職場対抗戦を実施



●第1回 職場対抗戦授賞式の様子



【参加者の声】

- ・ コロナ禍で運動不足が課題だったが、出かけるきっかけになった
- ・ 職場で取り組むと、会話が増えて風通しがよくなった
- ・ 無理せず自分のペースで参加できた
- ・ スタンプラリー機能を活用し、県内の魅力を再発見できた



歩得を活用した食の環境整備

おおいた歩得に「うま塩もっと野菜スタンプラリー」機能を新たに追加
健康的な食事にアクセスしやすい環境づくりと県民への利用促進

2020
8月31日(野菜の日)
スタート!!

★協力店舗：60店舗
(令和2年12月末)



うま塩(塩分控えめ)、
もっと野菜(野菜たっぷり)な
食事を提供するお店の
対象メニューを食べると
スタンプがたまり、ポイントGET!



スタンプ獲得数
1,352件(8/31~1/31)



スタンプラリー機能を活用し、食の環境整備のさらなる推進を図る



大塚製薬株式会社と協働した 健康経営推進の取組

一般社団法人大分青年会議所
直前理事長 福嶋 崇
FUKUSHIMA Takashi

原点◎帰

健康寿命日本一おおいた創造会議 2021/02/03

～ 健康を革新させ社会を動かす主人公となれ～

魅力的な雇用環境の整備をめざし 大塚製薬様との協定を締結 2020年8月21日



Start-Up Health Management !

健康をテーマにwebセミナーを開催

2020年10月21日配信



番組



zoom Zoom ミーティングでのライブ配信!!

START-UP HEALTH MANAGEMENT!

企業健康イノベーション

講師のご紹介

高尾 洋香
Takao Hiroka

所属
大塚製薬株式会社
ニュートラシューティカルズ事業部
福岡支店 学術部係長(管理栄養士)

2020.10.21(WED) 大分市内・県内の企業に携わる方、経済人
START 19:00-20:30 2020.10.9(FRI)

私たちの生活において必要不可欠な「健康」にスポットを当て、健康の3大要素を徹底解説します。
コロナ禍の今だからこそ重要な立ち寄り「健康」について学び、企業で取り入れ、心身の健康な状態を醸成し、
企業の生産性の向上に寄与する健康維持、改善方法を紹介します。

大分青年会議所のホームページから応募できます

大分青年会議所 Youtubeチャンネルにて公開中

健康ダンス



大分青年会議所Youtubeチャンネルにて公開中

健康ダンス

2020年10月21日公開



一般社団法人 大分青年会議所

健康ダンス

作詞作曲：大分青年会議所
監修：(株)Re Bone 健笑堂整骨院グループ



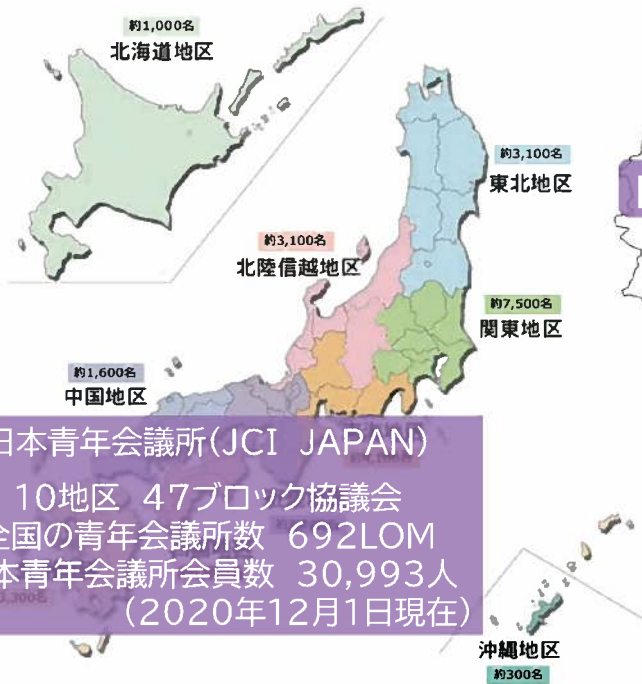
番組



健康ダンス



大分青年会議所Youtubeチャンネルにて公開中



日本青年会議所(JCI JAPAN)
10地区 47ブロック協議会
全国の青年会議所数 692LOM
日本青年会議所会員数 30,993人
(2020年12月1日現在)

大分ブロック協議会
青年会議所数 8LOM
会員数 320人
(2020年12月1日現在)

原点@帰

～ 伝統を革新さす社会を動かす主人公となれ ～



大分発の取組が 全国に拡大

原点@帰

～ 伝統を革新さす社会を動かす主人公となれ ～



アクサ生命の大分県内における 健康経営の取り組み

— 健康経営推進員としての活動 —

大分支社

支社長 湯本新平

2021年2月3日

※「健康経営」は、NPO法人 健康経営研究会の登録商標です。

CONFIDENTIAL

中小企業とアクサ生命

アクサ生命は、中小企業様、商工会議所様と共に歩んできました。
中小企業様の発展はアクサ生命の使命です。

創業当時の本社所在地
日本工業倶楽部



➔ アクサ生命の前身、日本団体生命創業

日本で初めて「団体生命保険」を販売する会社として創業しました。

1934（昭和9）年「日本団体生命」誕生

- 全国産業団体連合会、さらには商工会議所が設立推進母体
- 本社：丸の内・日本工業倶楽部内
- 初代会長：郷誠之助（日本商工会議所/東京商工会議所会頭）
専務：膳敬之助（初代労働課長として健康保険法を立案し、成立に尽力）
- 支店（大阪、名古屋、福岡、札幌）：各地商工会議所内
- 支店長：商工会議所常務理事が兼務

➔ 商工会議所共済制度の発足

中小企業の福利厚生 の普及・拡充を目的に発足し、弊社は引受保険会社として貢献できるよう努めてきました。

1967（昭和42）年「生命共済制度」発足

- 中小企業で働く従業員の福利厚生のための制度として、愛知県西尾商工会議所様でスタート

1970（昭和45）年「特定退職金共済制度」発足

- 中小企業の従業員の確保と定着を図るための制度として、山口県小野田商工会議所様でスタート

1996（平成8）年「ベストウイズクラブ」設立

- 商工会議所共済制度の普及・推進を通じ商工業者の福利厚生 の向上と企業経営の安定を図り、もって地域社会への貢献に寄与することを目的に、商工会議所専務理事様を会員として設立

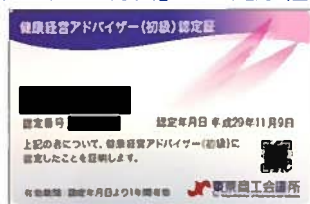
アクサ生命と健康経営

アクサ生命は（旧日本団体生命の創業以来）、
中小企業様・商工会議所様と共に歩んできました。
中小企業様の発展はアクサ生命の「使命」であるという基本理念のもと、健康経営を支援いたします。

健康経営アドバイザーの活動

アクサ生命では、全国の営業店のほぼ全社員が健康経営アドバイザー資格を取得し、日常活動のなかで健康経営の普及啓発を行っています。

*「健康経営アドバイザー制度」とは、健康経営を普及啓発していくために国策で創設された資格制度です。



CONFIDENTIAL



3

県内における取り組み＝関係団体との協業内容

①県内各商工会議所

- ・2018年5月に、県内全商工会議所さまと健康経営の推進普及に関する連携協定を締結
- ・共催による、各種セミナーも実施中



②全国健康保険協会大支部

- ・2020年6月24日、企業・事業者への健康経営の普及促進に向け、相互の協力が可能な分野における連携を推進していくため、覚書を締結



③大分県

- ・「健康寿命日本一おうえん企業」に登録し、「県民の健康づくり」や企業・団体における健康経営の普及啓発、実践支援を展開中
- ・2020年12月5日(火)にオンラインで実施された、大分県の「健康経営推進員研修会」に、アクサ生命大分支社の全社員が、本研修を受講した。

④地元マスメディアと「健康経営メディアキャンペーン」の実施

- ・2015年度から、毎年、継続実施
- ・メディア媒体で健康経営の啓発、セミナー開催、健康経営推進意見交換会を展開

4

県内における取り組み具体的内容

①健康経営推進員(健康経営アドバイザー)による活動例

No	業種	従業員数	健康課題・以前の状況等	導入したこと
1	IT業	186名	・社内での健康意識に格差があり、今行っている取り組みの効果にも疑問があった	・コロナ禍でのコミュニケーションを図るためのレクリエーションを計画 ・アクサのウェブアンケートで定期的な健康課題の把握
2	卸売業	21名	・従業員の健康に対する意識は高いが、食べ物や運動に関する関心が低い	・お弁当にカロリー表を添付
3	ガラス販売業	21名	・「健康経営優良法人申請」直前対策セミナーへのご参加	・申請書記入への助言・サポート
4	建設機械レンタル業	60名	・従業員の健康課題を把握できていなかった	・アクサのウェブアンケートを活用し、従業員へフィードバックを行った
5	メディア業	85名	・従業員向けの各種健康情報の提供不足	・給与明細同封による各種健康情報チラシでの情報提供

5

県内における取り組み具体的内容

②各種セミナーの開催

(1) 健康経営セミナー

- ・商工会議所との共同開催
- ・経営者、労務担当者向け

(2) 職域健康セミナー

- ・企業へ赴き、その企業の課題に則した内容
- ・経営者、役員、全従業員が対象



(3) 健康経営優良法人直前対策セミナー

- ・健康経営優良法人申請手続きに向けた直前の対策セミナー



* 写真は昨年度の実施風景（今年度はリモートで実施）

6

うま塩ヘルシーメニュー・弁当 普及啓発・支援事業について

国東市医療保健課

国東市の健康課題

県民健康意識行動調査から見たこと
(H28大分県県民健康意識行動調査)

- 県平均と比べて
 - ・メタボ該当者が多い
(標準化該当比 男性122 女性154.2)
 - ・肥満者が多い(特に40~65歳)
 - ・ジュース類を飲む人が多い
 - ・砂糖類の摂取が多い
 - ・野菜、海藻の摂取が少ない
- 食塩摂取量が目標量よりも多い

国東市食育推進基本計画から見たこと
(H30国保データベースシステム有所見割合)

- 肥満者(BMI25以上)の割合が県平均より高く、約3人に1人が肥満
- 生活習慣病有病率が県平均より高く、約2人に1人が生活習慣病



目標

働き盛り世代の肥満者を減らす！！

平成29年度国東保健部主導で
うま塩ヘルシーメニュー・弁当ができ
市・県・栄養士会で推進！



うま塩ヘルシーメニュー・弁当基準
エネルギー **700kcal未滿**
食塩相当量 **3.0g未滿**

食育推進基本計画重点目標

- ・正しい食生活を身に付けよう！
- ・選んで食べる力を身に付けよう！



うま塩ヘルシーメニュー・弁当普及啓発

これまでの市での取り組み

	市の役割	実施したこと
平成29年度	普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・市で実施する事業の際に周知 ・食と健康フォーラムで、うま塩ヘルシーの規定にあったお弁当の試食会
平成30年度	普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・市で実施する事業の際に周知 ・食と健康フォーラムで、実際に販売されているうま塩ヘルシー弁当の試食会
平成31年度	普及啓発 *大分県地域の健康づくり支援事業補助	<ul style="list-style-type: none"> ・市で実施する事業の際に周知 ・食と健康講演会でうま塩ヘルシーの周知 ・歩得ミッションイベントで周知 ・うま塩ヘルシー弁当シール作成、ポスター作成

課題

- ①利用者が少ない、特にメインターゲットの働き盛り世代の利用が少ない。
- ②国東市民の健康状態が変わっていない
- ③提供店がうま塩ヘルシーの規定にあったものを提供できているのかが分からない



うま塩ヘルシーポスター



うま塩ヘルシー弁当シール

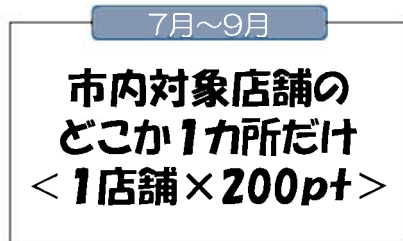
今年度の取組（1）

①働き盛り世代の利用を増やすための取組み

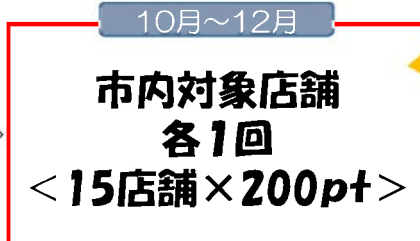
- 「おおいた歩得」の活用

歩得ミッションを3か月間

「期間中1回」から「各店舗1回」へ



利用数 96



↑↑ 利用数 331（延べ） ↑↑

全店舗
行くと
3,000pt



うま塩ヘルシーポスター（F22年度作成）

- 市内健康経営事業所へのアプローチ

- ・ 従業員の昼食の状況把握
- ・ ポスター等を配付して利用促進

今年度の取組（2）

②国東市民（特に働き盛り世代）の健康状態を改善する取組み

- 「食と健康教室」を開催

市内健康経営事業所等の健康づくり担当者を対象に食育SATの体験を交えながら、

- ・ 自分の体にあった食品の選び方
- ・ 食品を購入する時に確認してもらいたいポイントを伝えた。



担当者から、
「ぜひうちの事業所にも来て従業員に伝えてもらいたい！」
とのご意見もいただきました。

◎「新しい生活様式」を实践！
三密を避けて実施



うま塩ヘルシーメニュー・弁当普及啓発・支援

今年度の取組（3）

③提供店にうま塩ヘルシーの基準にあったものの 継続的な提供のための取組み

■ 栄養士会委託で提供店への聞き取り（登録年度＋2年の店舗）

- ・目的：質の担保
- ・方法：提供店への訪問

■ 市単独店舗訪問（登録年度＋3年以上の店舗）

- ・目的：質の担保、弁当提供店にはシールと栄養成分表示の確認
- ・方法：提供店への訪問

■ 情報共有

- ・健康寿命延伸会議：保健部、市（月1回）
- ・進捗会議：栄養士会、保健部、市（年2回）
- ・情報交換会：提供店（年1回）

【うま塩ヘルシーメニュー・弁当店支援】

提供店	提供時期	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
1	×	◎	○			○
2	×・弁	◎	○	○		○
3	弁	◎	○	○		○
4	弁	◎	○	○		○
5	弁	◎	○	○		○
6	弁	◎	○	○		○
7	弁		◎	○	○	
8	弁		◎	○	○	
9	弁・×		◎	○	○	
10	弁		◎	○	○	
11	×		◎	○	○	
12	×		◎	○	○	
13	×		◎	○	○	
14	×		◎	○	○	
15	×		◎	○	○	
16	×		◎	○	○	
17	×		◎	○	○	
18	弁			◎	○	
19	弁			◎	○	
20	×			◎	○	
21	×			◎	○	
22	×					◎
23	×					◎
24	×					◎

×：メニュー提供店
◎：初回登録
弁：弁当提供店
○：継続支援

うま塩ヘルシーメニュー・弁当普及啓発・支援

市・県・栄養士会との連携の効果

- ・協力して、開拓・支援することで市内旧町すべてで「うま塩ヘルシーメニュー・弁当提供店」ができた



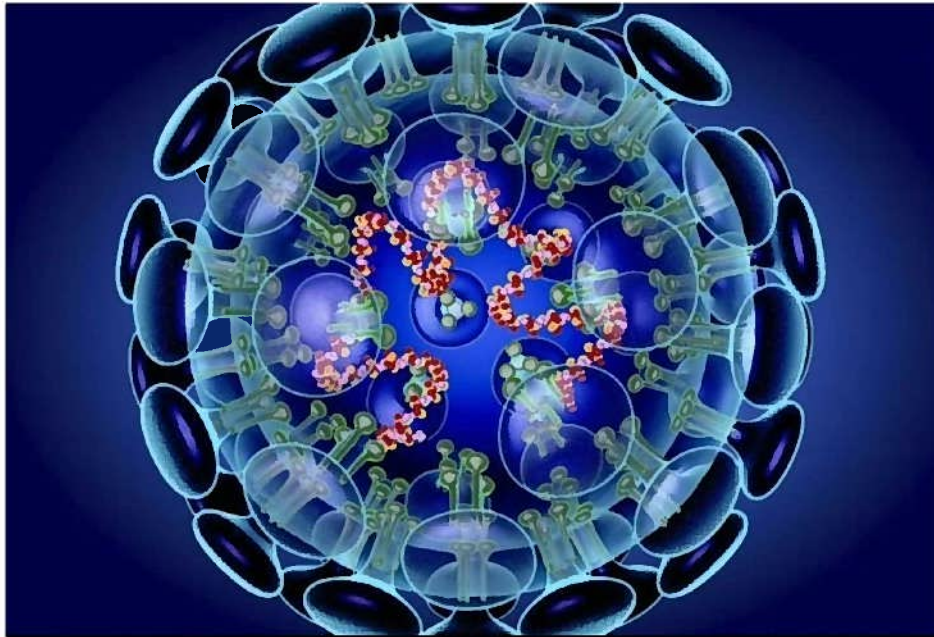
市内どこでも「うま塩ヘルシーメニュー・弁当」を食べられる環境ができた

- ・最初に、県と栄養士会が提供店と良好な関係を築いた



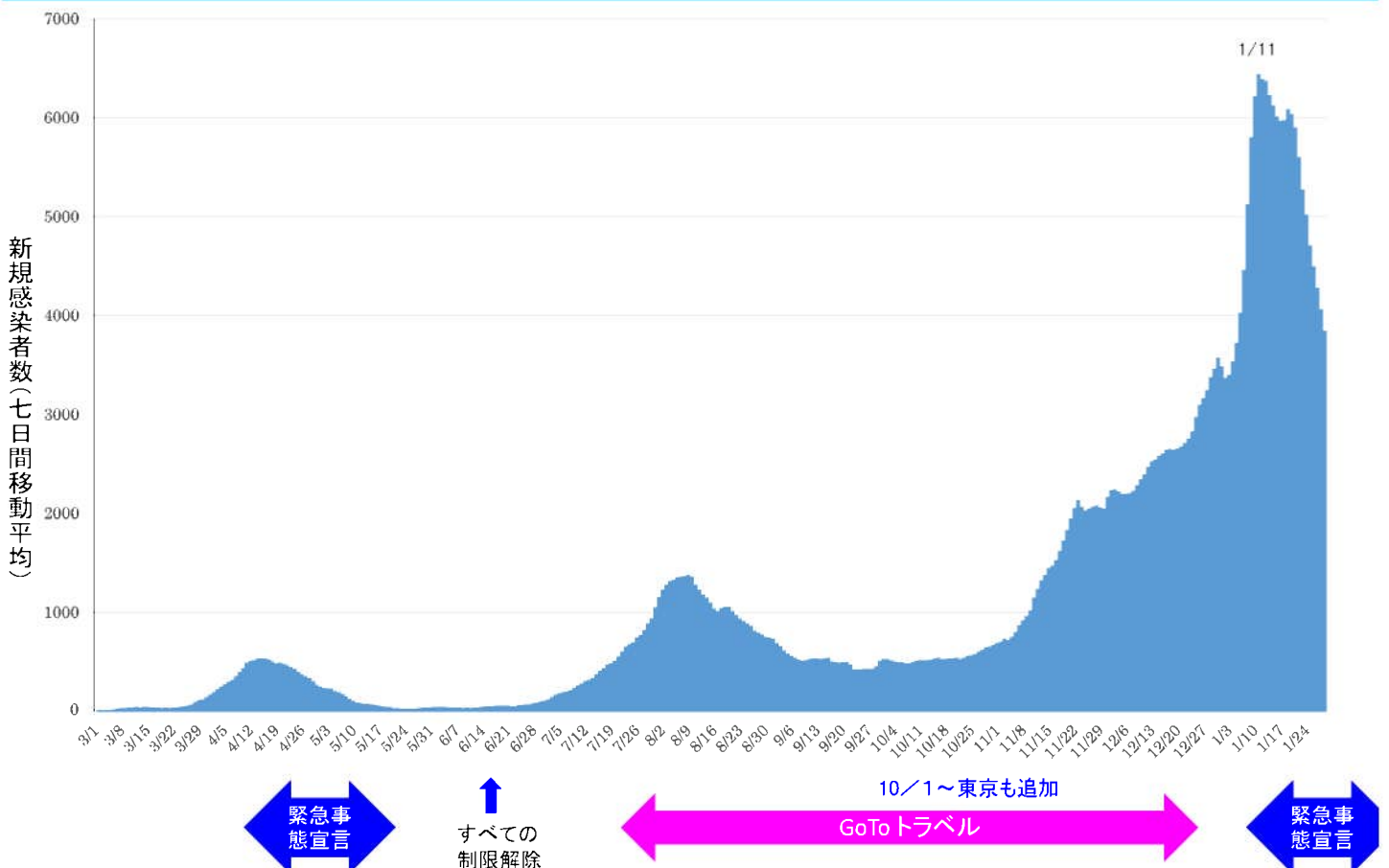
市の訪問でも受け入れが良い
色々話してもらえ関係ができた

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の現状と課題

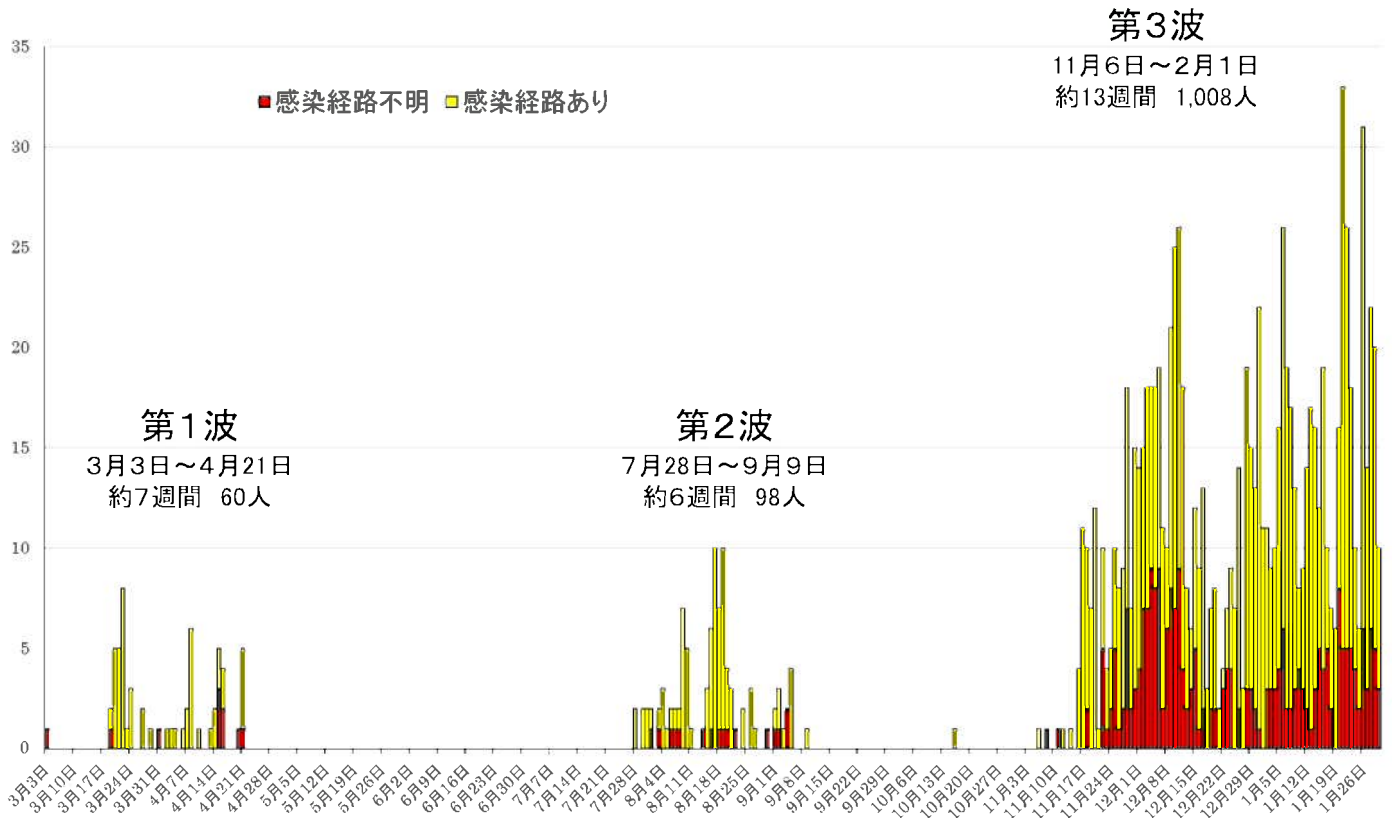


大分県福祉保健部

新型コロナウイルス新規感染者数の推移 (全国)

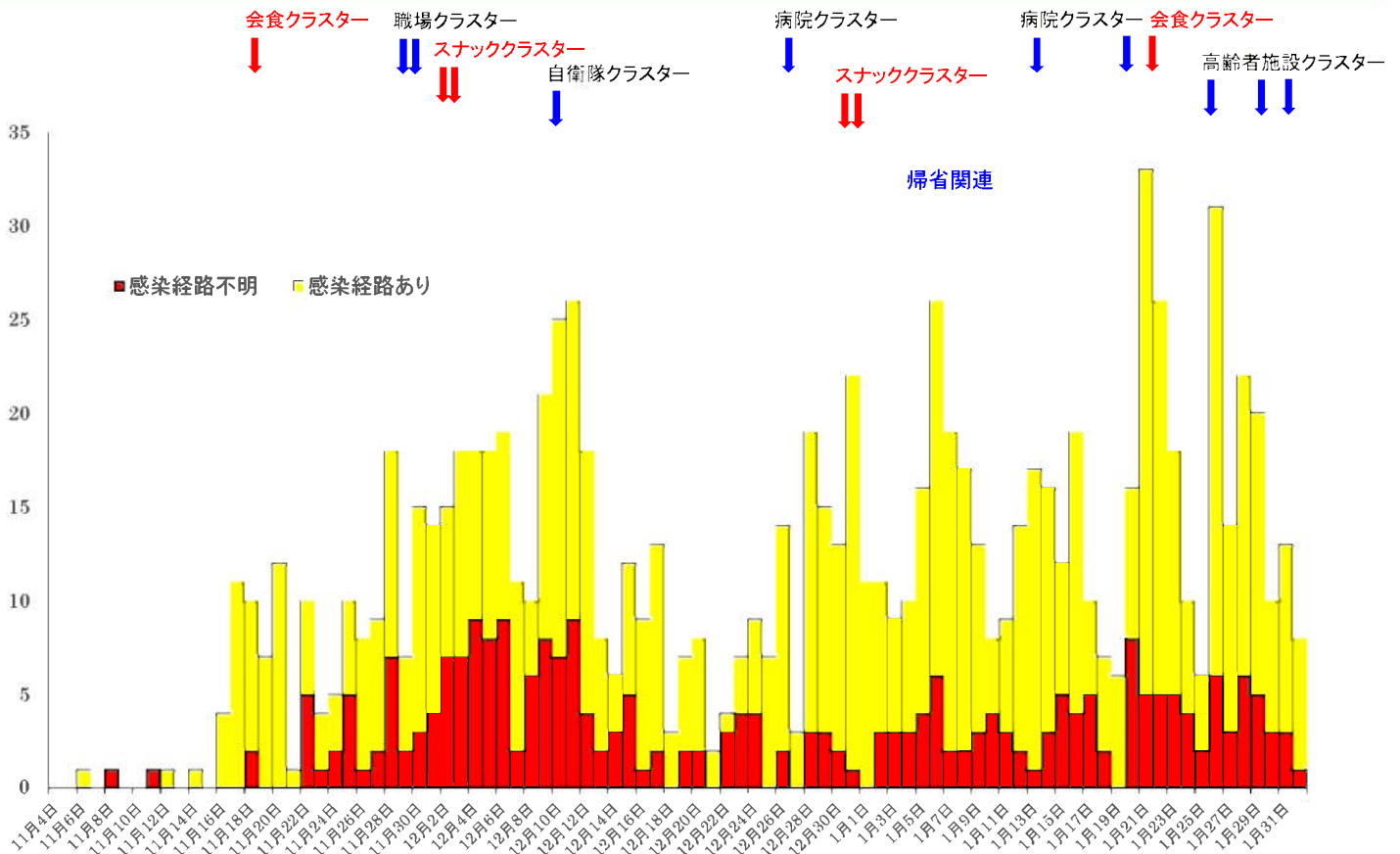


感染経路の有無別新規感染者数(大分県)

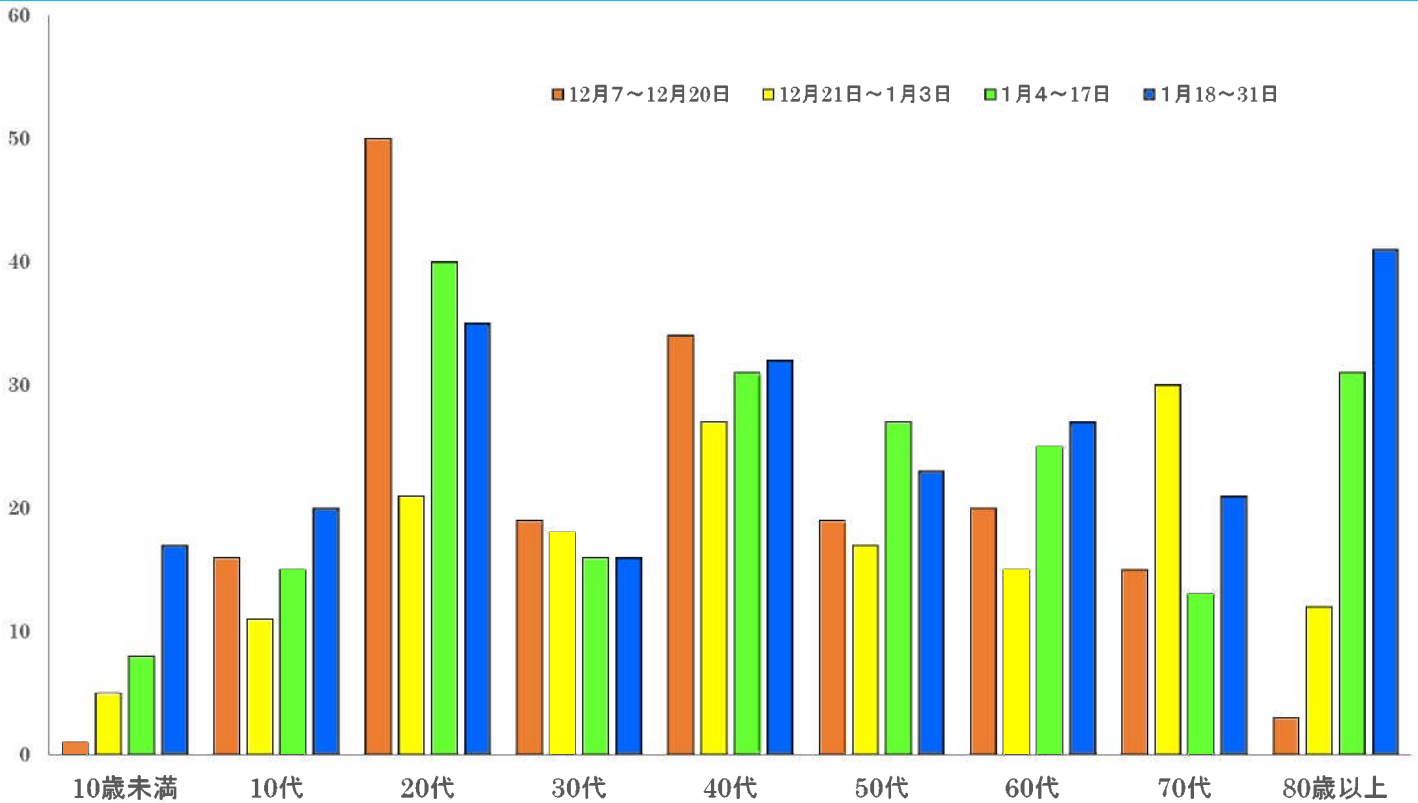


感染経路不明者割合は、第1波 16.7%、第2波 16.3%、第3波 26.2%

感染経路の有無別新規感染者数(大分県)



年齢階級別新規感染者数の推移(大分県)

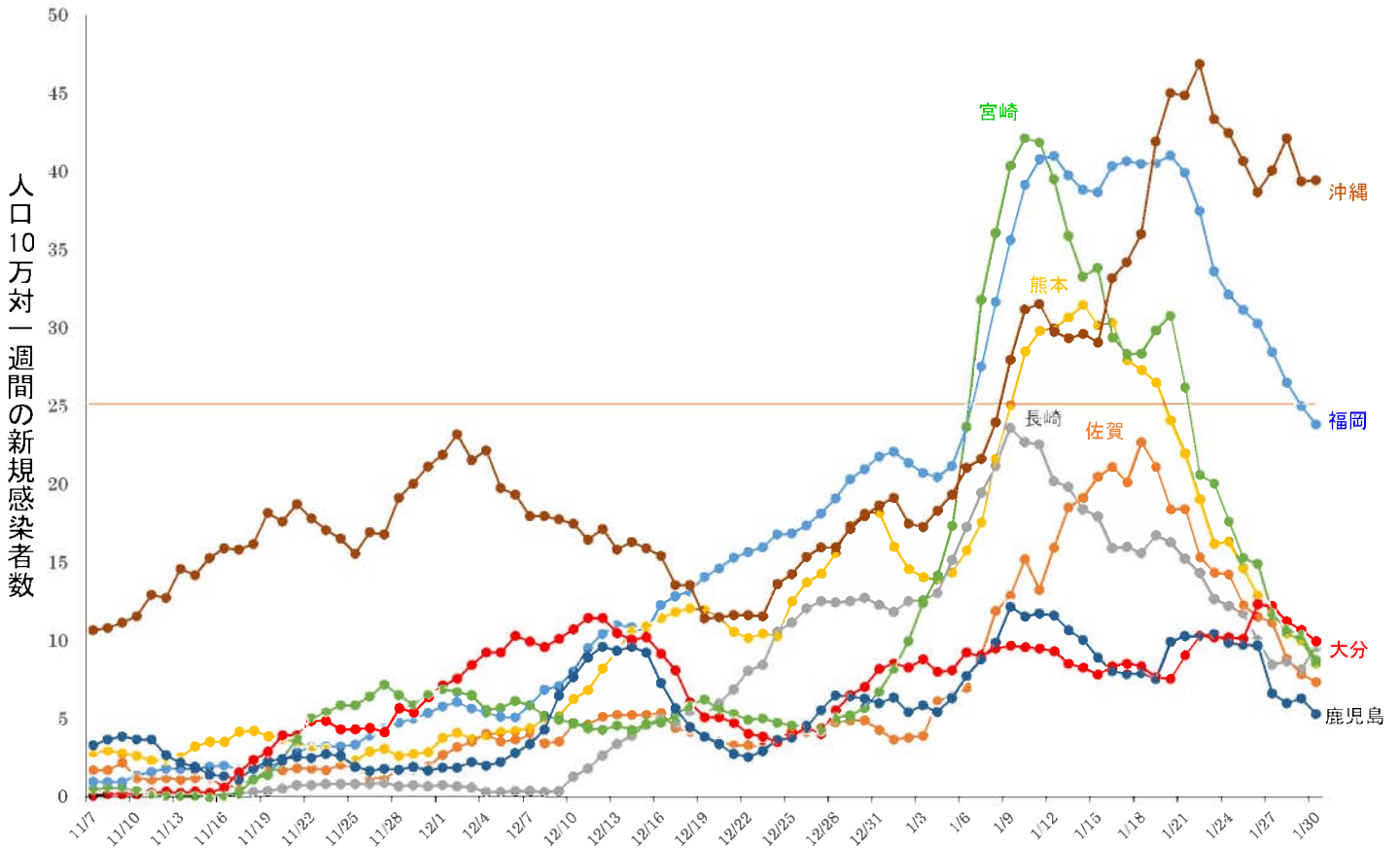


年代別の集計では、この8週間で20代が最も多く、全体の18.9%を占め、ついで40代の16.1%となっている。直近の2週間では、こども園や高齢者福祉施設のクラスターの発生に伴い、年齢構成の二極化が見られる。

大分県の感染状況の評価

ステージ	感染者の状況と医療提供体制への負担	重症者用病床利用率 (43床)	病床利用率 (365床)	感染経路不明者割合 (1週間)	人口10万対新規感染者数/週	人口10万対療養者数 (宿泊療養含む)	直近1週間と先週1週間の比較	PCR陽性率 (1週間)
		7.0% (3床)	29.6% (108床)	22.0% (26 / 118)	10.40 (118人)	13.74 (156人)	115 → 118人	2.4% (118 / 4,866)
I	感染者が散発的に発生	10%未満 (~4床)	10%未満 (~36床)	30%未満	5未満 (~56人)	5未満 (~56人)	直近1週間と先週1週間に大差ない	5%未満
	・医療提供体制に特段の支障がない							
II	感染者が漸増、医療への負荷が蓄積	10～20%未満 (5～8床)	10～20%未満 (37～72床)	30～50%未満	5～15未満 (57～170人)	5～15未満 (57～170人)	直近1週間が先週1週間より多い	5～10%未満
	・クラスターが発生し、感染者が漸増 ・公衆衛生体制の負荷が増大 ・医療提供体制への負荷が蓄積							
III	感染者が急速に増加し、医療提供体制における支障の発生を避ける対応が必要	20～50%未満 (9～21床)	20～50%未満 (73～182床)	50%以上	15～25未満 (171～283人)	15～25未満 (171～283人)	直近1週間が先週1週間より多い	10%以上
	・クラスターが多発し、感染者が急増 ・一般医療にも大きな支障が生じることを避ける対応が必要な状況							
IV	爆発的に感染が拡大し、深刻な医療提供体制の機能不全を避ける対応が必要	50%以上 (22床以上)	50%以上 (183床以上)	50%以上	25以上 (284人以上)	25以上 (284人以上)	直近1週間が先週1週間より多い	10%以上
	・大規模なクラスター連鎖が発生 ・爆発的な感染拡大により、高齢者や高リスク者が大量に感染し、多くの重症者及び死亡者が発生 ・公衆衛生・医療提供体制が機能不全に陥ることを避ける対応が必要な状況							

九州各県の感染状況の推移(第3波)



県内で確認されたクラスター一覧(大分県)

発生場所・施設	クラスター発生の要因
医療機関(6)	休憩室における「密」 救急患者による感染の持ち込み 職員による感染の持ち込み
スナック等(4)	密閉・密集・密接な会話 カラオケによるエアロゾルの発生
知人・家族との会食(3)	マスクなしでの密集・密接な会話 密閉空間での長時間の会食
高齢者福祉施設(4)	顔を近づけての会話, 接触
児童福祉施設(2)	顔を近づけての会話, 接触
職場(2)	マスクなしでの密接な会話
宿舎等の共同生活(2)	マスクなしでの密接な会話
学校(1)	顔を近づけての会話, 接触



クラスターを早期に探知するための取組のポイント



毎日の検温で体調の変化を読み取ろう



- ◆ 検温するのは、体調の変化を読み取る(感染の兆しを早期に探知する)ためです。
- ◆ 起床直後や食後、入浴後は避け、1日2回を目安に検温しましょう。
- ◆ 記録するだけでなく、体温の経時変化をチェックし、平熱より1℃程度高いときは発熱と考え、ためらわずに受診し、抗原検査をお願いしましょう。
- ◆ 特に職員の方は、出勤しない日の体温測定をお忘れなく。

発熱がなくても、咽頭痛、咳などの症状があれば抗原検査を

- ◆ これくらいなら大丈夫だろう、もう少し様子を見よう、と思っているうちに感染が広がる可能性があります！！
- ◆ 特に高齢者は、はっきりとした症状が出にくい場合があります。
- ◆ いつもと様子が少し違うなど、発熱の有無に限らず気になることがあればためらわずに受診し、抗原検査をお願いしましょう！

先の見えない辛い日々が続きますがあと少しと信じて…
みんなで励まし合いながら
乗り切っていきましょう!!



新型コロナワクチンの有効性と安全性

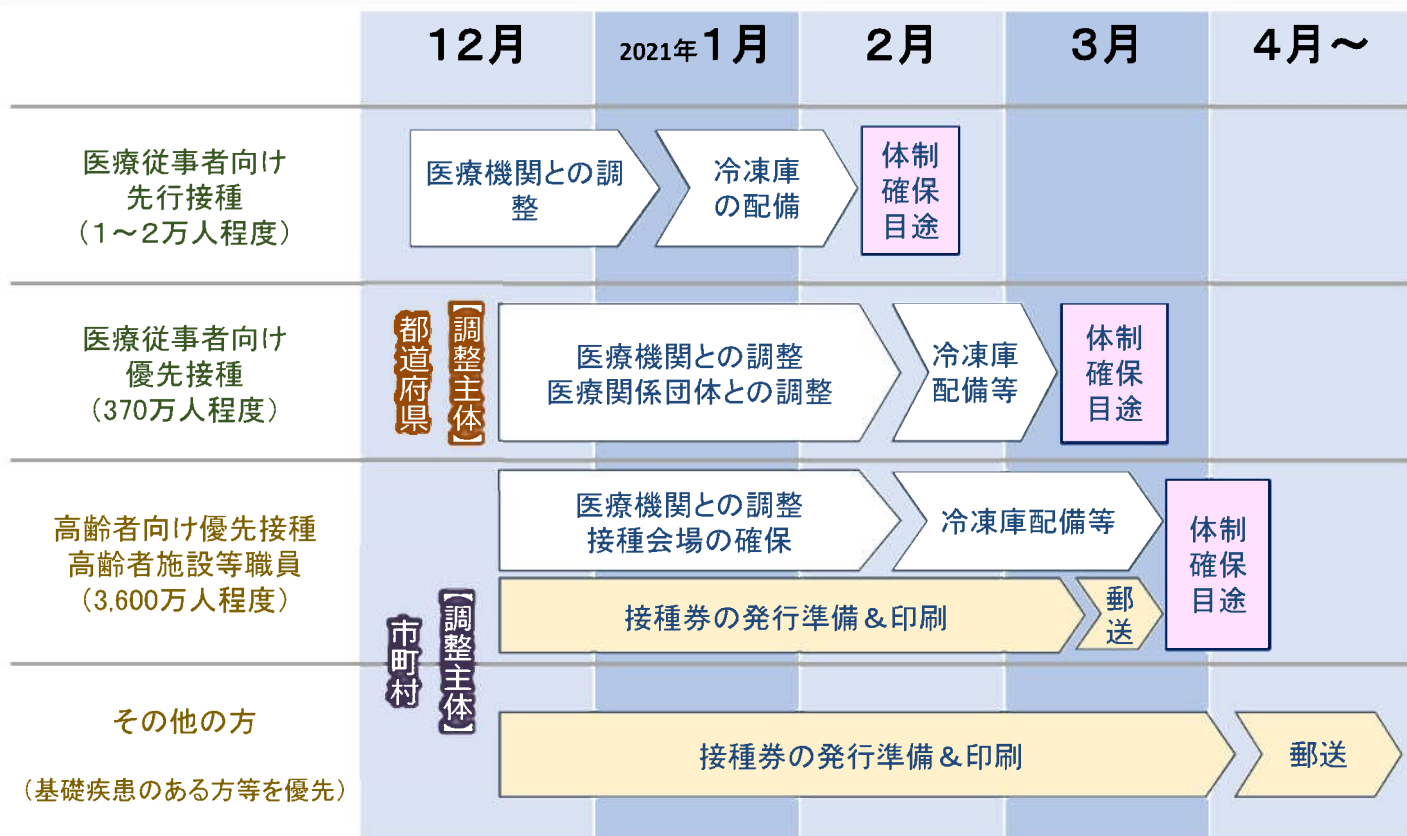
新型コロナウイルスワクチンの有効性

- 有効率95%が意味するもの
ワクチンを打たなかった群に比較して、感染率が1/20に
- インフルエンザワクチンの有効率52.9%
ワクチンとして、95%の有効率はトップクラス！

新型コロナワクチンの安全性

- 接種直後の「アナフィラキシー」 10万回に1回
蕁麻疹、唇の腫れ、喘鳴、のどの閉そく感
すぐにアドレナリンの注射をすることで全員回復！
- 接種数日後の副反応
接種部位の疼痛と腫れ(高率) インフルエンザより多い
発熱や倦怠感(2回目接種で1割程度)
- 接種後の慢性副反応 これからのデータ収集が必要

新型コロナワクチンの接種体制の構築





市町村対抗!

おおいたNo.1決定ウォーキング

～希望の一步を踏みだそう～

健康寿命日本一おおいた創造会議 / 取組紹介

2021年2月3日

べつだいウォーク実行委員会
(大分銀行・大分放送・毎日新聞社大分支局)

★「べつだいウォーク」について



【べつだいウォークの歴史】 ※特別ゲスト招待開始以降 (第7回～)

開催年	参加人数	特別ゲスト	開催年	参加人数	特別ゲスト
2010年【第07回】	1,630名	増田 明美	2016年【第13回】	2,573名	青木 愛
2011年【第08回】	1,506名	谷川 真理	2017年【第14回】	2,408名	稲村 亜美
2012年【第09回】	1,940名	弘山 晴美	2018年【第15回】	2,472名	畠山 愛理
2013年【第10回】	2,262名	杉山 愛	2019年【第16回】	2,249名	丸山 桂里奈
2014年【第11回】	2,543名	岩崎 恭子	2020年【第17回】	2,522名	栗原 恵
2015年【第12回】	2,404名	江藤 愛	2021年【第18回】	コロナ禍により延期	

- ・2004年、国土交通省(大分河川国道事務所)による『別大国道6車線化イベント』として開催。
- ・2006年、第3回目より「べつだいウォーク実行委員会(※)」を立ち上げ、新たにスタート。
(※) 株式会社大分銀行、株式会社大分放送、株式会社毎日新聞社大分支局 【企画運営業務：株式会社大分毎日広告社】
- ・2010年より、特別ゲストを招待。同時開催される「別府大分毎日マラソン大会」応援イベントとしても定着。
現在は、参加者も毎年2,000名を超え、大分県内最大のウォーキングイベントに成長している。



★ 2021年の「第18回べつだいウォーク」

2021年『第18回べつだいウォーク』の開催に際して、新型コロナウイルス感染拡大の影響が最大の問題となりました。



- ・2021年2月7日（日）に開催を予定していた「第18回べつだいウォーク」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、次年度に延期することを決定しました。
- ・各種イベントの中止による閉塞感が高まる一方で、イベント開催を望む声も多く、私たちは「今だからできること」を考えてまいりました。
- ・「こんな時期だからこそ、歩くことを楽しみ、地域の魅力を歩くことで感じてほしい」。そんな想いから、「市町村対抗！おおいたNo.1決定ウォーキング～希望の一步を踏みだそう～」を企画。「市町村対抗」と銘打つことで、目的意識や地域内での心の一体感を感じることが出来る演出も盛り込んでいます。
- ・同時に、新しい取り組みとして、大分県・(株)大分銀行と連携協定を締結している明治安田生命保険相互会社および全国健康保険協会大分支部、そして地域商社DitaMadeが企画協力企業として参加し、イベントを盛り上げていきます。

- 大分県（健康づくり支援課）： 独自に開発した健康アプリ『おおいた歩得』のコンテンツ提供
- 明治安田生命保険相互会社： 地方創生に係る分野での連携・協働を通じ、相互の強みを活かした地域活性化策を加速させる。
- 全国健康保険協会大分支部： 健康経営の普及促進に向けた連携協定。
健康経営支援を通じた地元企業の活性化・地方創生につなげていく。
- DitaMade： 『大分ならではの』にこだわったライフスタイルショップ。
本イベントでは上位市町村の参加者への賞品をセレクト。

企画趣旨

withコロナ期対応型イベント → 3密をつくらない企画設計
～好きな時間に、好きな場所で、好きなだけ～

べつだいウォーク×おおいた歩得
**市町村対抗！
おおいたNo.1
決定ウォーキング**
～希望の一步を踏みだそう～

実施内容

健康アプリ「おおいた歩得」を活用し、市町村対抗形式によるリモートウォーキングイベントを開催。

競技方法

- ・参加者の歩数を市町村ごとに集計
- ・順位は一人あたりの平均歩数で算出（市町村ごとの総合計歩数を参加者数で割る）



- コロナ禍における代替イベントの開催
- 知名度を活かしたファン層の参加見込み
- 参加無料での実施



- 大分県制作の登録者数5万を超える健康アプリ
- 「歩数計算」を実現できる機能
- 新規登録者の獲得とCM等のPR効果に期待

市町村対抗

- 市民（県民）の健康増進
- 歩くことで地域の魅力を再発見してもらえる

★ イベント内容

市町村対抗!
おおいたNo.1決定ウォーキング
～希望の一步を踏みだそう～

2/1 (土) ▶ 2/28 (日) **参加無料**

開催場所：大分県全域
 開催期間：2021年1月4日(月)～1月25日(月)
 参加人数：参加申込制の無制限
 参加資格：大分県在住 or 勤務先が「おおいた歩得」登録可能な方
 申込方法：特設サイト(メールフォーム)より申込受付
 (お申し込みは2/10日までに)

市町村で歩数を競う!

モダンなスマートフォンから申し込み、特設サイトから申し込み、スマホを持って歩くだけ!

上位市町村の参加者に抽選で当たる!

大分を歩こう。

お申込みの遅れ・イベント内容は裏面をご確認ください

べつだいウォーク実行委員会 ☎097-553-2509

おおいたNo.1決定ウォーキング 市町村対抗 歩数を競う! 2/1(土)・2/28(日) **参加無料**

STEP 1
スマホに「おおいた歩得」をダウンロードしてください。
「おおいた歩得」アプリを起動して、簡単なプロフィールを入力すれば、「おおいた歩得」の準備はOKです!

STEP 2
「イベント特設サイト」にアクセスして、参加申込フォームにて必要事項を登録してください。
「おおいた歩得」アプリを起動して、参加申込フォームにて必要事項を登録してください。

STEP 3
イベント期間中に、スマホを携帯して歩くだけで参加できます。大分県内どこでも、日々の歩数を記録していただきます。
スマホを持って歩くだけでOK!

競技方法 参加者の歩数を市町村ごとに集計し、一人あたりの平均歩数で競います。
上位市町村の参加者に抽選で当たる!

詳しい内容・お申し込みはWEBサイトで

Instagram インスタグラムで地域の風景を公開しよう!

- STEP 1**
- 「おおいた歩得」をダウンロード
 - 10桁の個人ID取得
- STEP 2**
- イベント特設サイトへアクセス
 - 申込フォームにて参加登録
- STEP 3**
- 2/1～2/28の期間、市町村ごとに歩数を集計し、一人あたりの平均歩数で競います。
 - イベント期間中「おおいた歩得」をダウンロードしたスマホを携帯して歩くだけ!
 - 通勤、通学、買い物、レジャーなど、大分県内どこでも日々の歩数が加算されます
- 目指せ 大分No.1**

★ その他

1. 参加人数について

参加人数 2,617名 (※大分県内 全市町村よりエントリー)

2. 賞品について

上位市町村(1位～5位)の参加者に抽選で「大分県産うまいもの」が当たるチャンス!
賞品を大分県産品から選ぶことで、コロナ禍において厳しい地元企業を応援します。

3. さいごに・・・

大分県の健康アプリ「おおいた歩得」の機能を活用することで、「大分県全域を舞台に」「安全・安心に」参加できる本イベントが開催される運びとなりました。
新しい生活様式の中で多くの集合型イベントが中止となっているなか、
本イベントがまさに新しい希望の一步となると同時に、『おおいた歩得』活用の事例となり、
より多くの企業や団体、個人に広がることで健康寿命増進につながり、
大分県が目指す『健康寿命日本一』が実現することを願います。

以上

学校における コロナ禍での健康づくりへの取組

大分県学校保健会
(小中高校長会代表)
大分県中学校長会長 淵野暢浩

学校の役割（使命）

学校は、子どもの
「いのち」と「未来」を預かる所

知 確かな学力 **徳** 豊かな心 **体** 健やかな体

健康観察カード (1月8日 ~ 1月25日) 職員用 レベル2、3用

教職員名 ()

毎朝、体温を測り、記入してください。症状がある場合は、○印をつけてください。

日数	月日()	体温(度)	せき・くしゃみ	のどの痛み	体がだるい	息苦しい	頭痛	鼻水	においや味がいつもとちがう	寒気	腹痛	下痢	関節が痛い	同居家族の発熱等のかぜ症状の有無	その他 ※家族の様子等も記入してください	管理職 子エック
25	4/8(水)	36.5	○					○						あり・なし	子(年長)が発熱(37.7)と咳	
1	1/8(金)	35.4			△			△					△	あり・なし		
2	1/9(土)	36.3												あり・なし		
3	1/10(日)	36.6												あり・なし		
4	1/11(月)	36.2												あり・なし		
5	1/12(火)	35.9												あり・なし		
6	1/13(水)	35.8												あり・なし		
7	1/14(木)	36.3												あり・なし		
8	1/15(金)	36.2												あり・なし		
9	1/16(土)	36.3												あり・なし		
10	1/17(日)	36.2												あり・なし		
11	1/18(月)	35.9												あり・なし		
12	1/19(火)	36.1						△						あり・なし		
13	1/20(水)	35.8												あり・なし		
14	1/21(木)													あり・なし		
15	1/22(金)													あり・なし		
16	1/23(土)													あり・なし		
17	1/24(日)													あり・なし		
18	1/25(月)													あり・なし		

※毎日、出勤後に管理職へ提出します。
 ○発熱等のかぜの症状がある場合は、出勤を控え、休養すること。
 ○受診する場合は、必ずかかりつけ医に電話をして体温やかぜの症状を伝え、受診方法を相談すること。
 ○新型コロナウイルス感染症のPCR検査等を行うことになった場合は必ず管理職へ速やかに報告すること。
 ○同居する家族等がPCR検査や抗原検査を実施する場合や濃厚接触者と特定された場合、新型コロナウイルス感染症への感染





令和2年度 第2回健康寿命日本一おおいた創造会議 2021年2月3日（水）

ウィズコロナ時代の健康づくり ～ 入蔵健康サロンの取組 ～

入蔵健康サロンの活動（コロナ前）

〈目的〉

サロンでの体操や脳トレなどの介護予防の取組や参加による仲間・居場所づくりなどを通じて、住み慣れた地域で生き活きと過ごすことのできる地域づくりを進めている。

〈具体的な活動〉

- ・健康講話
大分市役所、社協、地域包括支援センター、野津原支所健康支援室等からの派遣
- ・体操
健康体操（「高原列車は行く」、「365歩のマーチ」、「長生きサンバ」を歌いながらリズム体操、めじろん元気アップ体操、ハピネット健康体操 等）
- ・各分野のお話・講習（年に一度、有資格者による「体力測定」）
在宅医療、病気予防、応急手当、栄養、災害防止、豊かな生き方、地域づくり 等
- ・レクリエーション
スカットボール、クイズ、介護の実演ドラマ、マジックショー、遠足、カラオケ 等
- ・脳トレ、茶話会、体力測定 等



有資格者による体操実技



思考を促す「脳トレ」



プロジェクター講習：（タブレット併用）

新型コロナウイルス蔓延の中、特に注意している点

参加者は、「サロン」の定期的開催を望んでいるので、感染拡大などにより公民館が使用できない場合は「オンライン集会」で対応できるようにしている。



通いの場を清潔に常に保つ



空気清浄機の導入



部屋の換気、3蜜の喚起、タブレット講習



屋外での体操講義

3

入蔵健康サロンの活動（コロナ後）

〈対応〉

感染拡大、緊急事態宣言等を受け、3月～6月まで活動を自粛
感染対策を徹底し、7月から活動再開（自粛期間中にオンライン会議の検討）

さらに、県事業「多世代交流・支え合い活動等感染症対策支援事業費補助金」の交付を受け、集合型が困難な状況になっても、地域の支え合いや健康維持の活動を継続するための取組開始

〈再開後の取組状況〉

○経過

- 7月 感染対策を徹底（検温チェック、マスク着用、手指消毒、換気等）
- 8月 **スマートブレスレット配布**。バイタルチェック、操作方法等の操作講習実施（3回）
- 9月 **タブレット配布**。タブレット等活用のための操作講習実施（2回）
- 10月 移転準備のため、公民館使用できず。
オンライン開催（2回）、個別訪問による支援も実施（3回）
- 11月 新公民館に集まった上で、オンライン集会
（11名はタブレットで参加。他の8名は操作の様子を見学）
なお、感染拡大を受け、**11月26日以降はオンラインで開催**
- 12月 県高齢者福祉課と連携し、オンラインでの専門職関与による健康講座を実施

○オンライン開催時の参加状況

- 10月 8日11名、22日9名
- 11月 26日11名
- 12月 10日8名、24日12名
- 1月 14日13名

（参考）

- 県補助金による機器整備
- ・スマートブレスレット 15台
- ・タブレット 10台



入蔵健康サロンの活動（コロナ後）

〈活動の様子〉

○公民館での集合時 これまでの活動に加え、オンライン開催に向けた準備にも取り組む



体操



タブレット



スマートブレスレット



脳トレ



操作講習



入蔵健康サロンの活動（コロナ後）

〈活動の様子〉

○オンライン開催 操作に慣れることをメインに実施
12月には、専門職によるオンライン健康講座を開催



ホストの様子



参加者の様子



オンラインでの健康講座



専門職による助言・指導（リモート）

